

# 「タイル張り」 タイル張りコースター

「タイル張り」とは、住宅、学校等の外壁並びに台所、浴室、玄関周り等にタイルを使用して貼り付ける仕事です。



**対象者**  
小・中学校  
全学年

**所要時間**  
講義 10分  
体験 110分

## 材料リスト

- モザイクタイル 10mm～45mm 各種 適量
  - 貼り付け用木枠 150mm×150mm
  - 仮置き用プラスチック枠 150mm×150mm
  - 接着剤 工作用木工ボンド
  - 目地材 タイル目地用白セメント 適量
- 参加  
人数分

## 使用工具リスト

- バケツ 目地セメント洗い用 1教室2～3個
- レンガ鋸 目地セメント練り用 1教室1本
- 目地鋸 タイル目地用ゴム鋸
- スポンジ 100mm×60mm×30mm 1教室1～2本
- ティッシュペーパー 1教室1箱
- 目地用シート・養生シート グループ数  
1800mm×1800mm・900mm×2500mm

## 講義

- ・タイルとは⇒「テグラ」(ラテン語)からきた言葉
- ・タイルの施工法 ・タイル職人の課題 ・タイルの歴史 について

## 体験した児童・生徒の感想

- 楽しかったし、ワクワクしました。(1年生)
- この体験をして、モノを作ることが好きになりました。また、作りたいです。(5年生)
- ものづくりがこんなに楽しいとは思いませんでした。すごく楽しかったです。(5年生)
- タイルの完成が素敵でした。(1年生)



## 担当教員の感想・要望など

- 子どもたちは目を輝かせ、生き生きと参加、活動していました。マイスターさんにアドバイスをもらっていた子は真剣な顔で耳を傾けていました。
- 自分たちで物を作り出すおもしろさを感じていた児童が多かったです。
- 子どもたちは、たくさんの材料の中から選んで、イメージを膨らませて作るのが楽しく、セメントを塗って、水で洗うマイスターさんの姿がかっこいいと言っていました。

## 作業工程の概要



- 養生シートをグループの机の上に敷きます。
- 全員に木枠・仮置き枠・ボンドを配ります。
- 鉛筆で各自、木枠の裏面に名前を記入してもらいます。



- 作業工程を説明します。
- タイル置き場より好きなモザイクを選んでもらいます。
- 仮置き枠に自分のデザインを考え並べてみます。
- デザインが決まれば、木枠にボンドを使い、貼りつけます。



- 目地セメントを練り、ゴム鋸で目地を入れます。(講師が行います)
- スポンジを絞り、余分な目地セメントを洗い落とします。(講師が行います)
- 表面の水分が乾いたら、ティッシュでタイル面を拭き上げます。児童の作品はできるだけ丁寧に扱います。



## 学校側との事前調整事項等

- 実施する教室と参加人数を確認します。
- 作業机、材料、目地、工程等のレイアウトを調整します。
- 生徒への作業工程の説明に関し、教員との役割分担を確認します。

## 安全作業上の注意事項

- モザイクの角が鋭利な物があるので、ケガのないように注意を促します。
- 木枠を落とすタイルが割れることがあるので注意します。
- ボンドが衣服につかないように注意を促します。

## 指導者からのアドバイスなど

- 児童への説明は、できるだけゆっくりと丁寧に話します。
- 作業中に手が止まっている児童には声をかけます。
- 児童からの質問・要望には誠実に応えます。
- ものづくり体験教室を体験した参加者のほぼ全員から「機会があれば、また体験したい」という感想をいただき、感謝しています。子どもの感性を直に見られ、感動しています。将来一人でも多くの子どもたちがものづくりの道へと進んでくれることを願い、日々活動をしています。



## 協力

- 京都府地域技能振興コーナー (075-642-5075)
- 保利 常昭(ものづくりマイスター：タイル張り)
- 宇治市立南部小学校 / 城陽市立寺田西小学校 / 長岡京市立長岡第三小学校
- 京都府タイル技工協同組合